平成２９年度　第９回　大学運営連絡会議事要旨

日　時　　平成３０年１月１６日（火）　１０時２９分～１１時４９分

場　所　　大学本部２階大会議室

出席者　　学長，後藤理事，兒玉理事，寺本理事，和田理事，佐々木監事，
早瀬副学長・全学教育機構長，田中教育学部長，小坂芸術地域
デザイン学部長，中村経済学部長，原医学部長，渡工学系研究科長，
有馬農学部長，山下附属病院長，米山附属図書館長，宮武地域学
歴史文化研究センター長

欠席者　　なし

陪席者　　北村監事，山下学長補佐，倉岡学長補佐，豊田学長補佐，穴井学長
補佐，宮脇学長補佐，岩本学長補佐，只木学長補佐，小林学長補佐，
吉永学長補佐，永田海洋エネルギー研究センター長，日野低平地沿
岸海域研究センター副センター長，郭シンクロトロン光応用研究セ
ンター長，赤津肥前セラミック研究センター長，西郡ＩＲ室長

○ 学長から，平成２９年度第６回大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。

【 報告・連絡事項 】

（１）ダイバーシティ推進講演会の開催について

荒木ダイバーシティ推進室副室長から，本件について，１月１９日（金）の教育研究評議会の冒頭３０分に役員等対象の第１部，その後に教職員対象の第２部を開催予定である旨の報告があった。

（２）弁護士費用（裁判等費用）について

後藤理事から，本件について，原則関係者（原告・被告）が所属する部局の部局負担とするが，制度・経営に関する訴訟については，大学負担とする旨の報告があった。

（３）平成３０年度科学研究費助成事業の申請状況について

寺本理事から，本件について，平成２９年度に比べて６８件増加しており，目標である申請率９０％を達成している旨の報告があった。また，最終的な目標は，一人でも多くの教員に科研費の趣旨を理解していただき，１００％に近づけることである旨の発言があった。

学長から，申請率の次はできるだけ採択率を上げるような工夫，努力をしていただきたい旨の発言があり，寺本理事から，過去２年間に渡って，学術主導型で科研費の査読を行った成果はあるが，形骸化している部分があるため，計画段階ではあるが，平成３１年度の申請は各部局でマニュアルを参考に採択率増加の努力をしていただきたい旨の発言があった。

学長から，２年連続で申請しなかった教員へ教育研究経費の配分をしない旨の再確認があった。

（４）教員総覧データベースと研究実績データベースの統合について

只木評価室長から，研究活動ガイドの構築等に併せて教員活動ＤＢの改修を進めており，その一環として，教員総覧ＤＢと研究業績ＤＢを統合し，より分かりやすい情報公開を図る旨の報告があった。

（５）各教員の企業との連携，国際研究等に関する活動状況の把握について

ＩＲ室長から，本件について，先月の大学運営連絡会でお願いした各教員の企業との連携，国際研究等に関する活動実績調査の結果，部局ごとの入力率についての報告があった。また，今後は活動実績の内容等も入力できるようにするため，回答に協力していただきたい旨の発言があった。

（６）その他

特になし。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

（１）活動現況等について月例報告

各学部等から報告があった。

（２）その他

後藤理事から，各部局等で年度末の予算の執行状況を確認していただき，なるべく節減に取り組んでいただきたい旨の発言があった。

【 その他 】

特になし。

以　上